



2016年度の「中学生まるびいアートスクール」活動風景
ワークショップ「魔法のミミ」より

2017年度中学生まるびい アートスクール「考え方を考える」 実施のご案内

今年のワークショップのテーマは「魔法のゴハン」。
アートを通じて食・身体・命について子どもたちとともに考えていきます。

金沢市内の中学校を対象としてアーティスト・学校・金沢21世紀美術館が協力して、中学生による美術鑑賞・制作のワークショップを行う「中学生まるびいアートスクール」。

7年目となる2017年度は金沢市内の2校と連携し、美術部員の生徒たちがアーティストとともにワークショップに取り組みます。本事業の成果及びワークショップの過程は美術館・生徒・教員が協力して記録し、記録書籍を作成するとともに、展覧会の形で発表します。

アートを通じての子どもたちの成長をぜひご取材いただきますようよろしくお願いいたします。

イベント名	2017年度中学生まるびいアートスクール
期間	ワークショップ：10月7日(土)、8日(日)、21日(土)、11月4日(土)、5日(日) ※10月7日、11月4日は13:00～16:30 10月8日、10月21日、11月5日は10:00～16:00 展覧会：2018年1月4日(木)～14日(日) 座談会：2018年1月上旬に開催予定 記録集：2018年3月刊行予定
会場	金沢21世紀美術館 キッズスタジオ ほか
連携協力校	金沢市立額中学校、金沢市立港中学校(金沢市中学校文化連盟の推薦により決定) ※両校の美術部員 合計約40名を予定
アーティスト	椿昇(つばきのぼる) 現代美術作家、京都造形芸術大学教授・美術工芸学科長 シロくま先生 アートディレクター、京都造形芸術大学講師 家成俊勝(いえなりとしかつ) 建築家、京都造形芸術大学准教授
主催	金沢21世紀美術館[(公財)金沢芸術創造財団]
共催	金沢市中学校文化連盟
後援	金沢市教育委員会

本資料に関するお問合せ

金沢21世紀美術館 事業担当：木村健、山下樹里 広報担当：川守慶之
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1
TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802
<http://www.kanazawa21.jp> E-mail: press@kanazawa21.jp



ワークショップ
内容(予定)

10月7日、8日…担当：椿昇

「食べる」を考える。世界の貧困や食物危機、米の原種からの人間の発明って？

10月21日…担当：シロくま先生

「フードデザイン」を考える。食べ物を素材に、食べない何かを作る

11月4日、5日…担当：シロくま先生、家成俊勝

「食べないもの」を考える。食べたあとに残るもの（稲藁など）、人間以外が食べる物（草や土）を用いて何かを作る

アーティストプロフィール



椿昇

TSUBAKI Noboru

現代美術作家、京都造形芸術大学教授・美術工芸学科長

1953年生まれ。

☆主な展覧会など

1989年「アゲインスト・ネチャー展」

1993年 ベニスビエンナーレ・アペルト

2001年 横浜トリエンナーレ

2003年 水戸芸術館個展「国連少年」

2005年 占領下の物語Ⅱ 舞台美術担当 / マサチューセッツ工科大学レジデンス

2009年 京都国立近代美術館個展「GOLD/WHITE/BLACK」

2010年 六本木アートナイトメインアーティスト / 瀬戸内国際芸術祭 番+坂手地区ディレクター

2011年「ノスタルジア展」ソウル・上海 / 「VITALFOOT PROJECT」

2012年 霧島アートの森 個展「PreHistoric_pH」



シロくま先生

SHIROKUMA SENSEI

アートディレクター、京都造形芸術大学専任講師

京都造形芸術大学のワークショップ授業を牽引するトップファシリテーター。



家成俊勝

IENARI Toshikatsu

建築家、京都造形芸術大学 空間演出デザイン学科 准教授

1974年兵庫県生まれ。

2004年より大阪に赤代武志らとdot architectsを共同主宰。

建築における設計、施工のプロセスにおいて専門家、非専門家に関わらず、様々な人々を巻き込む、超並列設計プロセスを実践。

障がい者と共に建築を建てる「Inclusive Architecture」や、障がい者施設の利用者と共に施設の調査を行う「尊厳のためのデザインリサーチプロジェクト」などを行っている。また建築を専門としながらも他分野の人々との協働プロジェクトにも多く関わる。その他にも、関西に「デザインする状況をデザインする」を合い言葉に、「DESIGNEAST」というプロジェクトの実行委員も努める。